

平成29年5月11日

各位

会社名 株式会社西武ホールディングス
代表者 取締役社長 後藤高志
(コード番号：9024 東証一部)
問合せ先 取締役広報部長 西山隆一郎
(TEL.04-2926-2645)

剰余金の配当に関するお知らせ

当社は、平成29年5月11日開催の取締役会において、下記のとおり平成29年3月31日を基準日とする剰余金の配当をおこなうことについて決議いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 配当の内容

	決定額	直近の配当予想 (平成29年2月9日公表)	前期実績 (平成28年3月期)
基準日	平成29年3月31日	同左	平成28年3月31日
1株当たり配当金	15円50銭	7円50銭	12円50銭
配当金の総額	5,222百万円	-	4,275百万円
効力発生日	平成29年6月22日	-	平成28年6月22日
配当原資	利益剰余金	-	利益剰余金

2. 理由

当社グループは、都市交通・沿線事業やホテル・レジャー事業、不動産事業を中心に、持続的かつ力強い成長を果たしていくことを経営の目標としております。

このため、当社は、グループ全体の経営基盤の強化や企業価値の向上をはかり、内部留保を充実させることで財務体質を強化し、安定した配当を継続的におこなうことを基本方針としております。

また、「西武グループ長期戦略」における財務戦略では、ステークホルダーへの還元と、成長に資する投資の実施を最適なバランスでおこなっていくことを方針として定めております。

これらを鑑み、当面は成長に資する投資を積極的に実施することなどから、連結配当性向15%を具体的な配当の目安とし、利益配分に努めてまいります。

当事業年度の期末配当金につきましては、基本方針及び財務戦略に基づき、当事業年度の業績を勘案したうえ、1株当たりの普通配当を前期から5円増額して15円50銭（中間配当金7円50銭を含む年間配当金23円、前期は別途1株当たり2円の記念配当を実施）とすることといたしました。

なお、本件は平成29年6月21日開催予定の当社第12回定時株主総会に付議いたします。
また、翌事業年度の年間配当につきましては、1株当たり23円（中間配当金11円50銭、
期末配当金11円50銭）を予定しております。

（参考）年間配当の内訳

基準日	1株当たり配当金		
	第2四半期末	期末	合計
前期実績 (平成28年3月期)	4円50銭 (普通配当4円50銭)	12円50銭 (普通配当10円50銭) (記念配当2円00銭)	17円00銭 (普通配当15円00銭) (記念配当2円00銭)
当期実績 (平成29年3月期)	7円50銭 (普通配当7円50銭)	15円50銭 (普通配当15円50銭)	23円00銭 (普通配当23円00銭)
次期予想 (平成30年3月期)	11円50銭 (普通配当11円50銭)	11円50銭 (普通配当11円50銭)	23円00銭 (普通配当23円00銭)

以上